

第三回日本モビリティマネジメント会議 3rd JCOMM



クロージング



JCOMM実行委員会・幹事長

藤井 聡 (東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻)

JCOMMのこれまでの経緯



(1998年 国内でTFPの紹介／検討開始)

～

(2003年 土木学会にMM研究の委員会を設置)

(2005年 JCOMM開催の検討開始)

- 2006年7月 第一回日本モビリティ・マネジメント会議（東京）
（JCOMMマネジメント賞・技術賞・デザイン賞の設置）
- 2007年7月 第二回日本モビリティ・マネジメント会議（札幌）
（JCOMM賞プロジェクト賞の設置）
- 2008年7月 第三回日本モビリティ・マネジメント会議（京都）

第三回JCOMM



■主 催:(社)土木学会, 国土交通省

■共 催:(社)システム科学研究所 (京都事務局)

■後 援:

都市再生本部

環境省

京都府

京都市

京都市教育委員会

京都府教育委員会

朝日新聞社

京都新聞社

日本経済新聞社

毎日新聞社

読売新聞社

(財)運輸政策研究機構

(財)計量計画研究所

(財)国土技術研究センター

(財)道路空間高度化機構

(社)日本バス協会

(社)日本民営鉄道協会

(社)日本道路協会

(社)建設コンサルタンツ協会

(社)国際建設技術協会

(社)北海道開発技術センター

NPO法人 ITS Japan

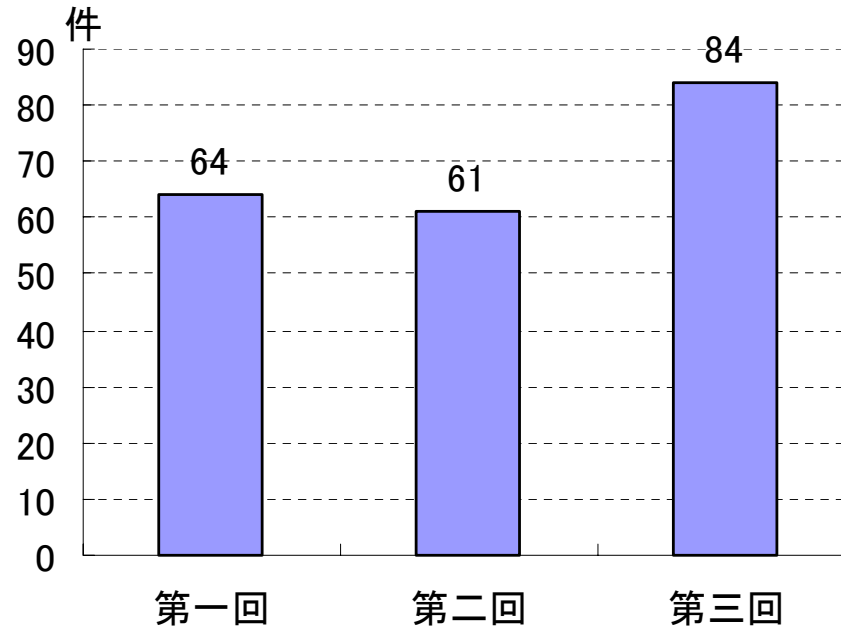
NPO法人自転車活用推進研究会

NPO法人 日本サイクルラック協会

有限責任中間法人自転車駐車場工業会

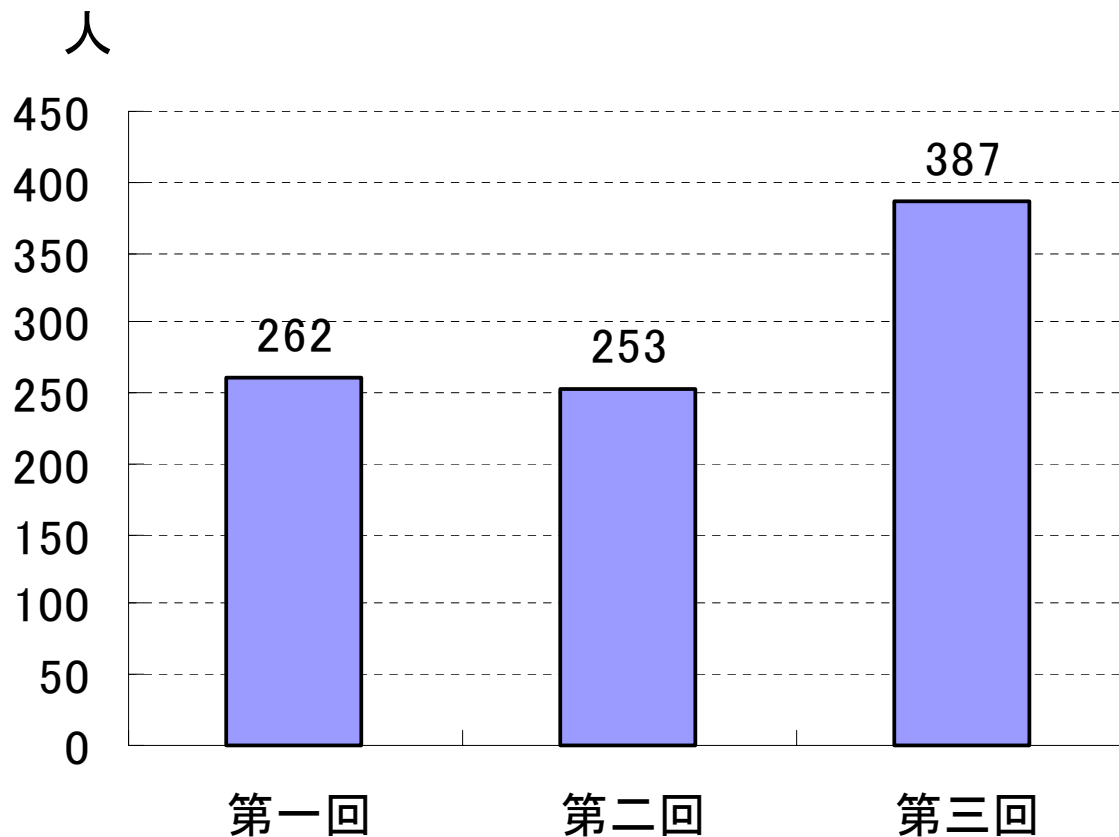
(以上25団体)

発表件数



各地域の発表件数が、大きく**増加**

参加者人数



昨年の1.5倍！

- プレイイベント「かしこいMMの使い方」

主催：京都都市圏MM協議会 共催：近畿運輸局

- 基調講演

日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)実行委員会委員長 石田東生教授
米国交通学会(TRB)TDM委員会前委員長 Eric Schreffler氏

- JCOMM賞授賞式

デザイン賞・技術賞・プロジェクト賞・マネジメント賞

- ポスターセッション

- 口頭発表1

MM行政の展開（渋滞対策，総合政策局、都市地域整備局）

- 懇親会

デザイン賞

「ふくいのりのりマップをはじめとするホジロバ交通情報関連ツール一式」 NPO法人ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

「茨城県内高校新入生のための公共交通利用促進パンフレット」 茨城県公共交通活性化会議・斎藤綾

技術賞

「Web GISを活用した交通行動自己診断システムの開発とトラベル・フィードバック・プログラムへの適用」 大森宣暁氏・原田昇氏・青野貞康氏・中里盛道氏

プロジェクト賞

「別所線の利用促進と沿線の観光振興を目的とした観光型モビリティ・マネジメント」 長野県上田市における観光資源を活用した別所線の活性化方策に関するワーキンググループ

「免許更新時講習等を活用したモビリティ・マネジメントの取組とその効果」 京都都市圏CO₂排出削減広報検討会議

「筑波大学新学内バス導入と利用促進MMプロジェクト」 筑波大学

マネジメント賞

「福山都市圏におけるベスト運動を核としたモビリティ・マネジメント」- 交通円滑化総合計画を活かした5年間に渡る包括的な取り組み- 福山都市圏交通円滑化総合計画推進委員会事務局

- **MMの社会的便益**（口頭発表）
PTによる大規模TFP，新聞の活用，職場MMの地域的取り組み
- **学校におけるMM**（口頭発表）
クルマ依存地域での小学校MM＋高校送迎バスMM，学校MMの配慮事項
- **MMとまちづくり**（口頭発表）
「まちなかライフスタイル」情報提供、居住地選択MM，コンパクト化政策MM
- **ポスター／ブース セッション**
- **バスシステム改善としてのMM**（口頭発表）
ターミナルバス情報システム、MMによるバス改善、過疎地域のバスMM
- **MMの多面的展開に向けて**（口頭発表）
地方鉄道、自転車、カーシェアリング

大盛況の発表会



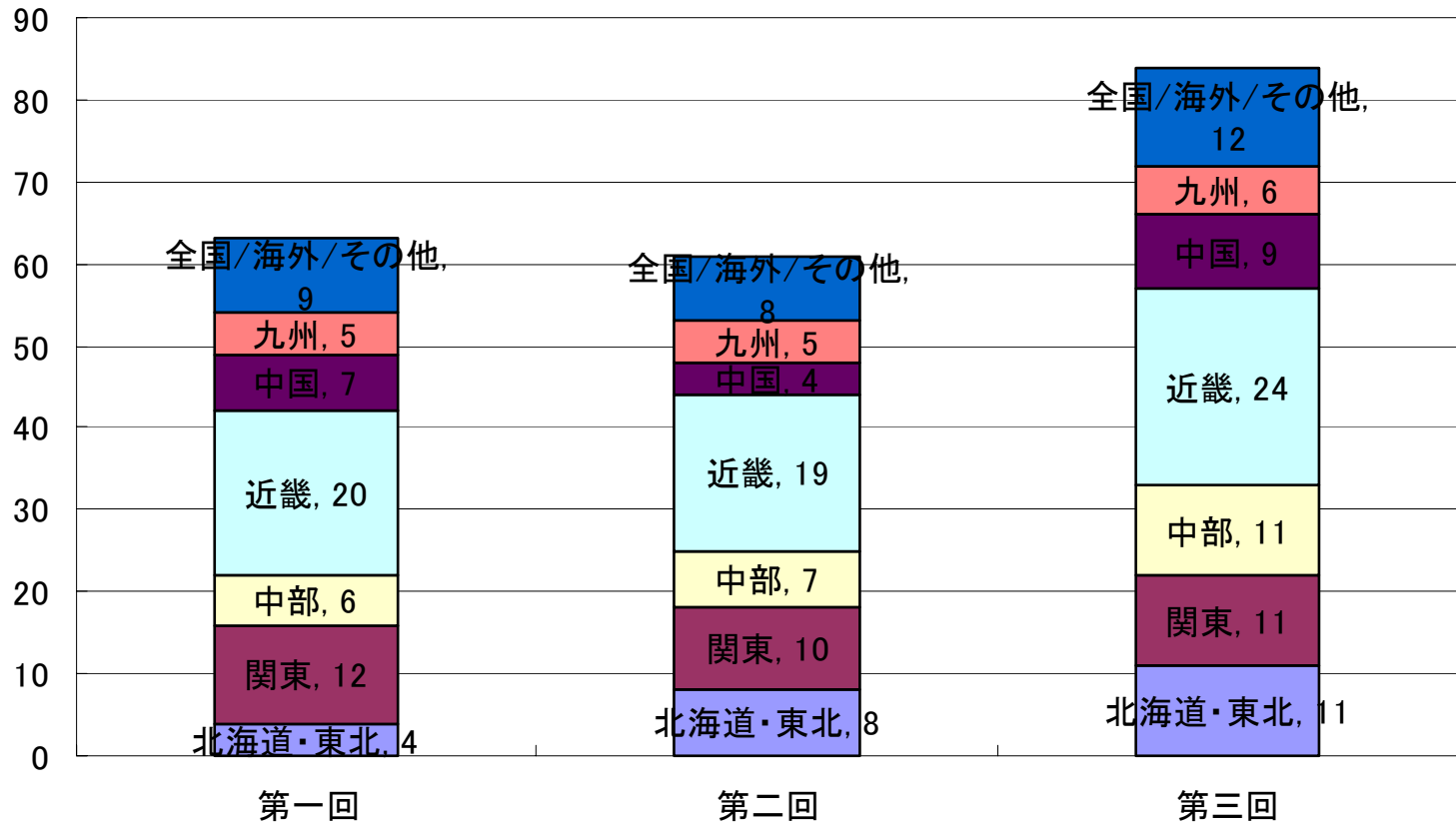
懇親会も大盛況



モビリティ・マネジメントの動向

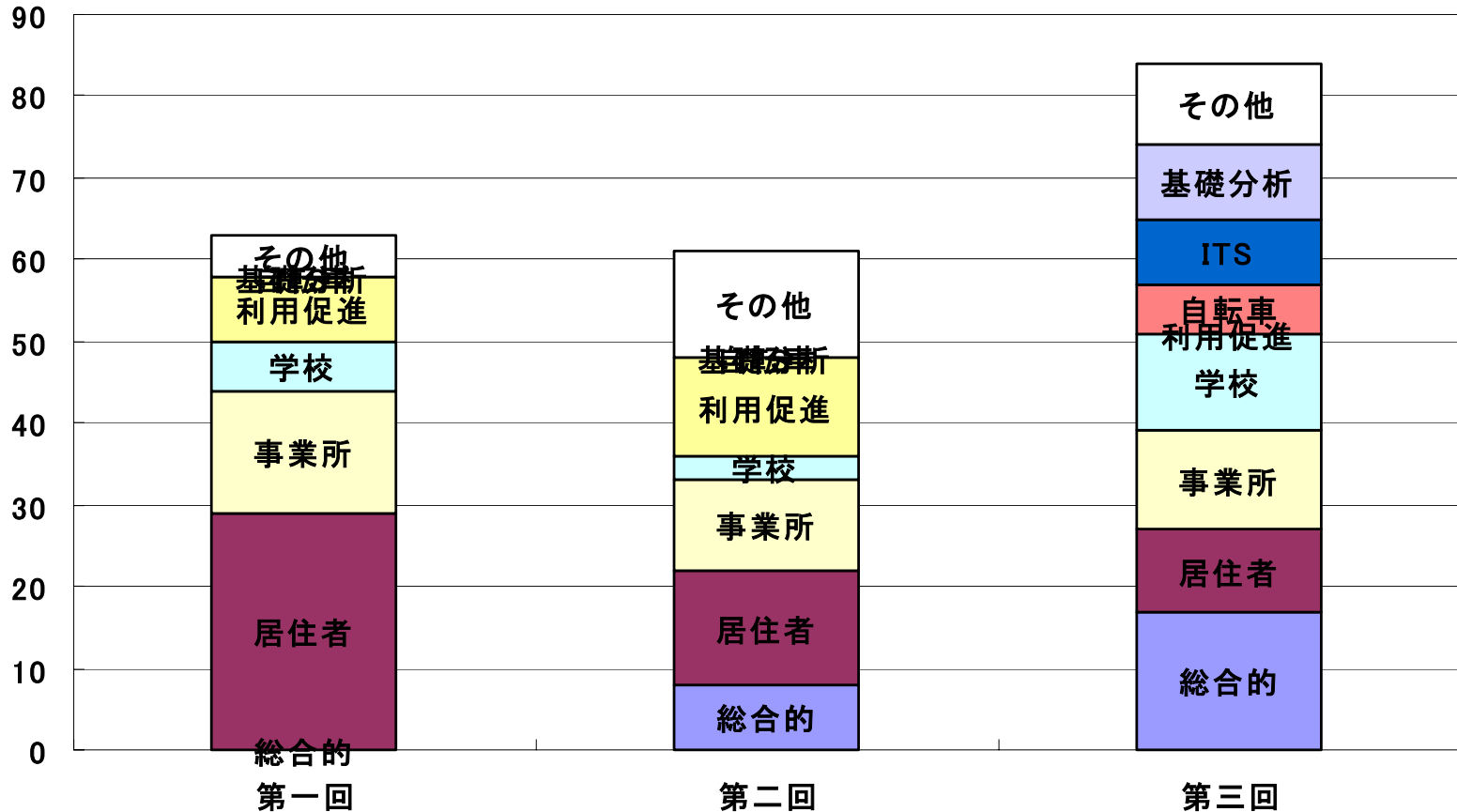
～今回の第三回JCOMMから～

発表件数(地域別)



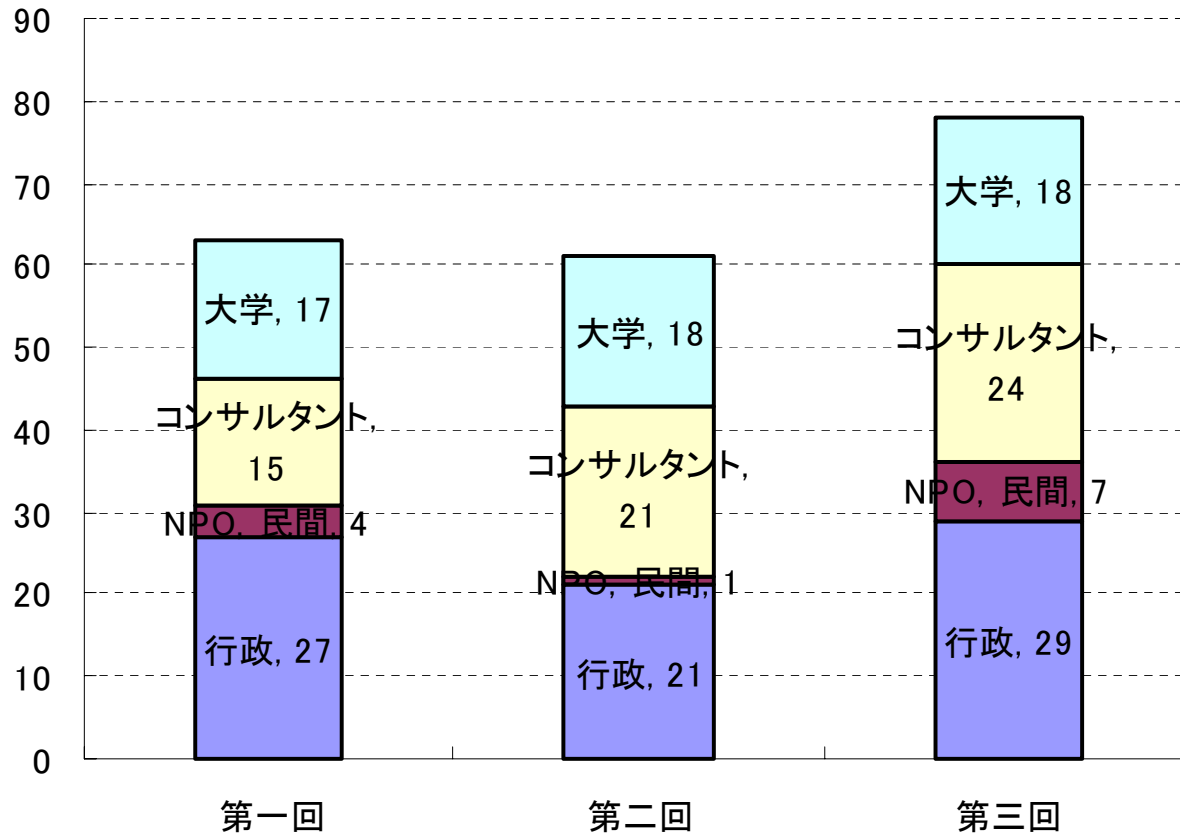
各地域のMMがそれぞれ増加

発表件数(テーマ別)



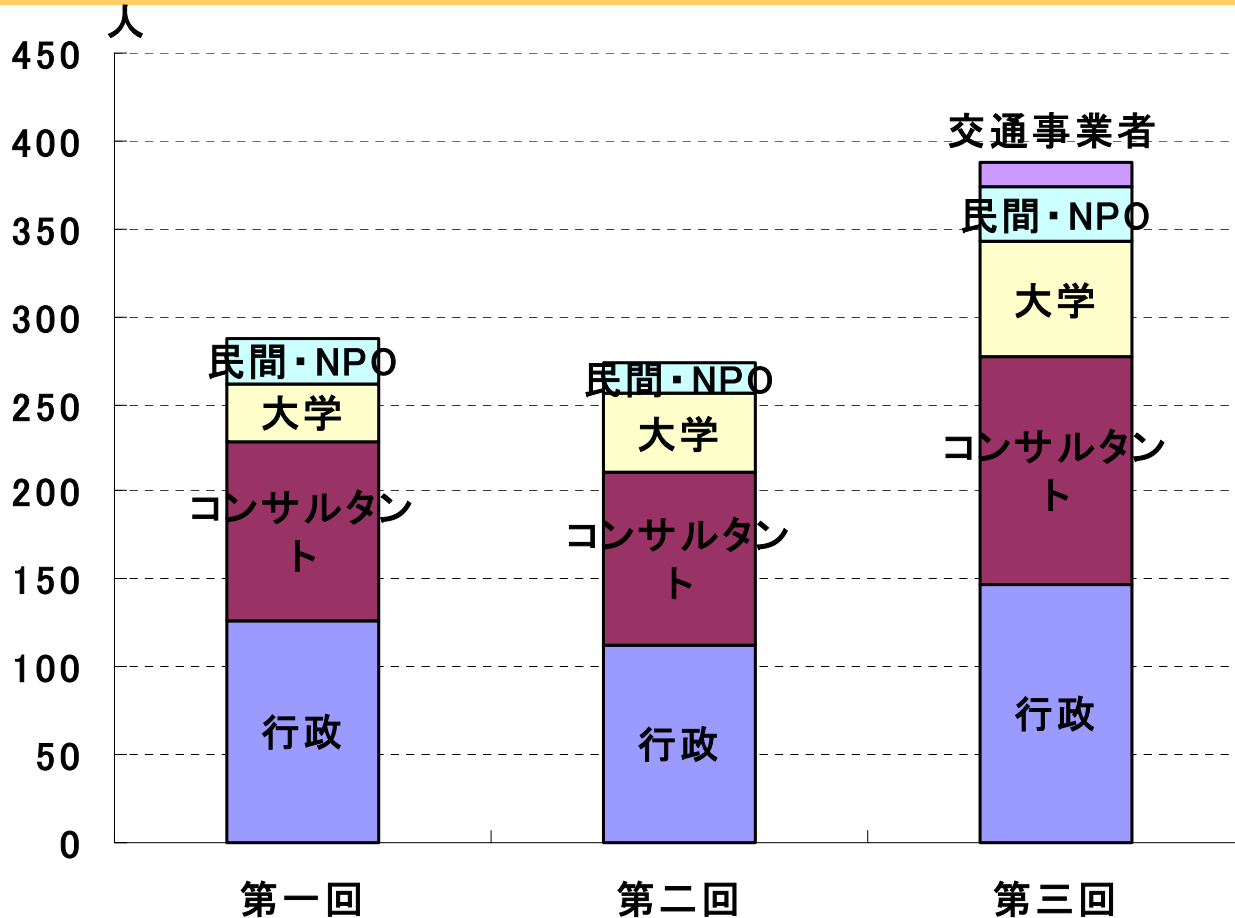
MMは確実に多様化し、かつ、総合化している

発表件数(発表者別)



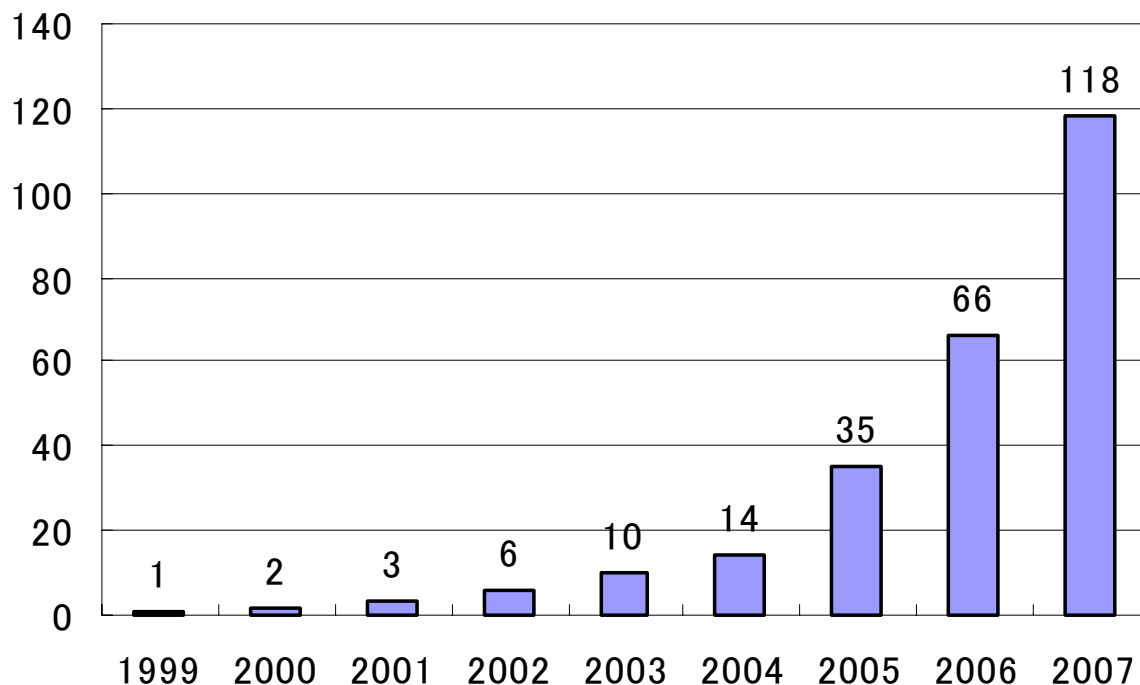
コンサルタント、NPO・民間の方々からの発表が増加

参加者人数(所属別)



それぞれの組織からの参加者増

全国のMMプロジェクト数



MMプロジェクト数は、**着実に拡大**

- MMは、確実に**拡大・浸透**しつつある。
発表数は1.35倍、参加者数は1.5倍、プロジェクト数は2倍近くに！
- 規模については、**大規模化**、
数千万、数億円単位での社会的便益と数千、数万トンのCO2削減
- 内容については、**多様化**しつつある。
自転車、ITS、まちづくり、ハード施策との連携
- それと同時に、**総合化**しつつもある。
MM総合計画、都市交通計画にMMを位置づける、等

おわりに
～JCOMM実行委員会から～

実行委員会からのお知らせとお願い



- **各種の手引き書**（職場MM・評価ガイドライン・B／Cのガイドライン）の残部があります。**受付**においておきますので、是非、お持ち帰り下さい。
- JCOMM参加料の可能性を検討しています……是非、**アンケート**にご協力下さい。
- パワーポイントファイル等は**全て**、近日中にHP上に掲載いたします。
（「**JCOMM**」で検索してください！）
是非、それぞれのMMのご参考にしてください。

- 次回JCOMMでの、
皆様のお取り組みの**ご発表・ご応募**を、
お待ちしております！

（また、次年度の“JCOMM参加旅費”のご確保もお願いします！）

多数のご参加をいただいた中直前までご調整いただき、
また、会議中もきめ細かなご配慮をいただいた、
京都事務局の(社)システム科学研究所の皆様
心より、御礼申し上げます。



2009年
大分で、お会いしましょう！